

第九十回帝國議會 衆議院 勞働關係調整法案委員會會議錄(速記)第三回

付託議案
勞働關係調整法案(政府提出)

昭和二十一年七月二十日(土曜日)
午前十時二十一分開議

出席委員

委員長 逢澤 寛君

理事 江崎眞澄君 理事 瀧澤脩作君

理事 竹田儀一君 理事 古賀喜太郎君

理事 伊藤卯四郎君 理事 松岡駒吉君

飯國壯三郎君 今井 はつ君

花月 純誠君 杉田 馨子君

原 侑君 山田 善三君

山本 勝市君 川崎 秀二君

關谷 勝利君 長尾 達生君

辻井民之助君 今村 等君

安平 鹿一君 山下 榮二君

木下 榮君 藤井 正男君

磯田 正則君 穂積 七郎君

野本 品吉君 正田 敏男君

同月十八日委員永江一夫君辭任ニ
付其ノ補闕トシテ今村等君ヲ議長
ニ於テ選定シタ

出席國務大臣

文部大臣 田中耕太郎君

厚生大臣 河合 良成君

出席政府委員

文部事務官 柴沼 直君

厚生事務次官 服部 岩吉君

厚生參事官 佐藤 久雄君

厚生事務官 吉武 惠市君

厚生事務官 富樫 總一君

本日ノ會議ニ付シタ議案勞働關係
調整法案(政府提出)

○逢澤委員長 ソレデハ前日ニ引
續キマシテ是カラ開會致シマス、

一寸此ノ際御報告ヲ申上ゲテ置ク
コトガアリマス、ソレハ本委員會

ニ使ヒマス色々ノ參考資料ノ請求
ガアツタノデアリマスガ、出來ル

ダケ皆様ノ要望ニ副フコトニシテ
居ルノデアリマスガ、其ノ中デ外

國官吏待遇狀況ノ資料ハ取集メニ
困難ナサウデアリマスカラ、是ハ

御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス
瀧澤脩作君

○瀧澤脩委員 二、三御尋ネ致
シタイト思ヒマス、本案ガ救國日

本ノ爲ニ發布サレマスナレバ私ハ
大イニ賛成致シマス一人デアリマ

スガ、本案ノ目的ノ條項デアリマ
ス第一項ニ關シマシテ政府ニ於テ

修正ヲ加ヘル意思アリヤ否ヤ、此
ノ第一條ガ全ク貧弱デアリヤウニ

私ニハ見受ケラレルノデアリマス
其ノ目的ト致シマス趣意ガ缺ケテ

居ル爲メ現實國民全體ニ兎角ノ感
動ヲ與ヘツ、アルコトハ事實デア

リマス、亡國日本ノ深淵カラ起チ
上ル爲メ現實條件ハ生産ノ増強ヲ

措キマシテ他ニ何モノモナイノデ
アリマシテ、其ノ生産ノ根元デア

リマス事業ト勤勞トハ渾然一體デ

ナクテハナラナイニモ拘リマセズ
國民ノ一部ノ者ハ民主主義ヲドウ

取り間違ヘタモノカ、民主戰線ト
カ勤勞戰線トカ云フ名ノ下ニ非合

法の運動ガ盛ンニ行ハレテ居ル
ヤウデアリマス、私ハ、戰ト云フ

聲ダケ聞キマシテモゾツトスルノ
デアリマス、ヨモヤ此ノ戰ト云フ

此處ニ使ハレテ居リマス言葉ハ國
民同士戰フト云フコトデハナイト

思ウテ居リマスガ、實ニ氣持ガ惡
イノデアリマス、尙又敗戰國ノ大

和民族ノ生活上一番大切デアル人
民ノ道義ノ如キハ廢頽ノ極ニ達シ

テ肉親相殺ノ所マデ押進シテ來テ
居ルデアリマス、此ノ儘半

年カ一年ヲ經ル中ニハ事業ト勤勞
トガ遊離致シマシテ、再建日本ノ

根源デアリマス所ノ生産ノ昂揚ガ
出來ルデアリマセウカ、政府ニ於

キマシテハ此ノ點如何ニ御考ヘデ
アリマセウカ、御尋ネ致ス次第デ

アリマス

又偶々此ノ法案ガ本議會ニ上程
サレマスヤ現實國民ノ或ル一部ノ

人達ヤ勤勞組合側デハ此ノ法案ヲ
單ナル締結ト解シテ、事業側ヲ援

助スルモノト又曲解シテ、本法制
定ニ反對ヲ唱ヘツ、アルコトハ事

實ト聞イテ居リマスガ、其ノ點政
府ニ於テハドウヤウニ感ゼラレテ
居リマスカ、御感想ヲ御聽カセ願

ヒタイノデアリマス、此ノ法案ガ
特別ノ考ヘヲ持ツテ居ル人トカ組

合トカニ喜ンデ迎ヘテ貰ハナクテ
ハナラナイト思フノデアリマス、

其ノ人達ヤ組合等ガ現實日本ガ敗
戰國デアルトヲ認識不足シテ居

ルカラデアルト私ハ思フノデアリ
マス、故ニ本法目的ノ條項デアリ

マス第一條ヲモウ少シ強ク且又
再建日本ノ今日ヲ再認識サス爲ニ

大改正ヲ行ツテ貰ヒタイノデアリ
マス

尙重ネテ申上ゲマスガ、政府ニ
於キマシテハ英斷的ニ本法斷行ノ

御意思カモ知レマセウカ、國民ノ
大半ヲ占メテ居リマス所ノ勤勞者

ノ理解ヲ茲デ十分ニ求メテ戴クト
共ニ、其ノ意見ヲモ聽取シテ戴キ

マシテ、日本再建ノ重大條件デア
リマス生産昂揚ノ爲ノ勤勞大衆ノ

生産意欲ヲ向上サスベキ強イ字句
ヲ挿入シテ戴キタイト思フノデア

リマス、以上デアリマス

○河合國務大臣 只今ノ瀧澤サン
ノ御質問ニ對シテ御答ヘ致シマス

此ノ終戰後ニ於キマス勞働問題
ノ行キ方ニ付キマシテ、只今色々

御話ガアリマシタガ、私共モ或ル
部類ニハ行過ギタノデハナイカト

云フヤウナ感ヲ持チマシタコトハ
全ク御同感デアリマス、併シ大體
ハ此ノ終戰ト同時ニ今マデノヤリ
方ヲ日本全體トシテ根本的ニ變ヘ

ナクテハナラヌト云フ建前、即チ
言フマデモナク、民主主義ノ線ニ

沿ウテ進ンデ行クト云フ風ニ、申
サバ國是ト云フモノニ一ツノ大變

革ガアツタト申シテ差支ヘナカラ
ウト思ヒマス、ソレデ此ノ國是ノ

移リ變リト云フ時ニハ、中々萬事
ガ満足ニハ行カヌモノデアリマシ

テ勿論總理大臣ノ本會議ニ於ケル
説明ノ如ク、日本ノ憲法制定當時

其ノ他古イ時代ニハ相當民主的ノ
建前デアツタノデアリマス、ケレ

ドモ其ノ後軍國主義ニ禍ヒサレテ
變ツタ、ソレヲ今度又其ノ本然ノ

姿ニ還ヘルノダト云フ御説モアリ
マシタガ、私達モ勿論サウ云フ傾

向ハ相當顯著ナコト、思ヒマスガ
兎ニモ角ニモ終戰後ハ相當ナ變リ

方デアツタ、其ノ中デ一番重大ナ
問題ハ言フマデモナク勞働權、勤

勞權ノ問題デアリマシテ、人間本
來ノ自覺、個人ノ自覺ニ基イテノ

個人ノ展開、是ガ非常ニ重要ナコ
トデ、サウ云フ線デ多クノ點ガ

「クローヅアップ」サレタト云フ
コトデアリマスカラ多少ノ行過ギ

モアツタノヲ、大キナ思想ノ流レ
國ノ前進ノ態度カラ見テハ已ム

ヲ得ザル所トシテ我慢ヲシナケレ
バナラヌ所デアアルカトモ私ハ考

ルノデアリマス、サウ云フ從來ノ
一ツノヤリ方、戰爭中ニ於ケル或

ツテ居リ、文部省モヤツテ居ツタノデアリマスガ、是ガ最近一元化サレテ、強力ナ體育行政ガ發揮サレルコトヲ私ハ期待シテ居ル、隨ヒマシテ一元化サレタコトハ結構デアリマスガ、厚生大臣ハ勞働者ト「スポーツ」勞働者ノ體位向上ト云フ問題ニ付テ、一體ドウ云フ風ナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、例ヘバ勞働組合ヤ、其ノ他ニ對シテ「スポーツ」ヲ普及サセル爲ノ手段方法ト云フモノヲ考ヘテ居ラレルカト云フコトモ、是モ一ツ御伺ヒヲ致シタイト思ヒマス、最近農村ノ青少年ノ傾向ヲ見マス、素人ノ演劇會、素人芝居ト云フモノガ非常ニ流行ツテ居ツテ、是ガ全國的ニ瀰漫シテ居リマスガ、素人芝居ノ内容ヲ見デ居リマス、ト國定忠治、或ハ森ノ石松ト云フヤウナ、今マデノ封建的ナ考ヘヲ中心ニシタ芝居ヲヤツテ居ルト云フノハ、洵ニ殘念デアルト思フ、私ハ是等ノ傾向ト云フモノハドウシテモ是正ヲシテ行キタイト思フ、ソレニハヤハリ健全ナル演劇、又新シイ時代ニ即應ジタ演劇ヲ普及サセテ行クノモ一ツノ策デアリマスガ、同時ニ農村ノ青少年ニ健全ナル「スポーツ」ヲ與ヘテ行クト云フコトガ、彼等ヲシテ平和國家建設ニ感激的ナモノヲ持タシ得ルト云フコトニ、私ハ肉體的ナ躍動ヲ若い青少年ガ好ムガ故ニ、最モ適策デハナイカト考ヘテ居ル一人

デアリマス、文部大臣ハ新タナ時
代ニ對シテ大キナ理解ヲ持タレ
方デアリ、又非常ナ人格者デア
ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス
カ、是等ノ問題ニ付テモ十分ナ御
意見ガアルト思ヒマスガ、此ノ際
日本ノ青少年ト「スボー」ト云
フヤウナ問題ニ付テモ御明示ヲ願
ヒタイト思ヒマス

尙ホ此ノ際私ハ長年來「スボー
」ノ關係者トシテ育ツテ來タ關
係上、色々御尋ネラ致シタイト
思ヒマスルケレドモ、本委員會ノ
性質上、餘リ多岐ニ亘ルコトハ避
ケマシテ、「スボー」ノ方向ト云
フモノハ今後ドウ云フ線ヲ辿ラナ
クレバナナイカト云フ私ノ私見
ヲ、之ヲ具體的ニ簡單ニ申上ゲテ
文部大臣ガ此ノ線ニ賛成デア
ルカドウカト云フコトヲ御尋ネラ致シ
タイト思ヒマス

私ガ持つテ居リマス方向トシテ
ハ、大體日本ノ「スボー」界ノ
方向ハ五ツノ原則ガアルドラウト
思フノデアリマス、第一ニハ軍國
主義的ノ「スボー」ト云フモノ
ヲ徹底的ニ排除シナケレバナラヌ
拂拭シナケレバナラヌト云フコト
デアリマス、是ハ私ハ多ク申上
ガル必要ハナイト思ヒマスガ、然
ル筋ノ人々ガ地方ヲ巡ラレテ、マ
ダ中等學校ノ雨天體操場ノ倉庫ノ
中ニ銃劍道ノ道具ガ置イデアツタ
ト云フヤウナコトデハ、是ハ洵ニ
困ルノデハナイカト私ハ考ヘテ居

リマス、ドウゾ軍國主義的「ス
ボー」ノ殘滓ヲ一切ニ掃スルコ
トニ努メラレタイト思ヒマス

第二ニハ日本ノ「スボー」界
ト云フモノハ、今後官僚主義的ナ
統制ト云フモノカラ完全ニ脱却シ
ナケレバナラヌ、即チ「スボー」
ヲ民間ノ手ニ返セト云フコトガ強
ク出テ行カナケレバナラナイト思
フノデアリマスガ、何分ニモ日本
ノ「スボー」團體ト云フモノハ
非常ニ經濟的ニ窮乏シテ居ル、
隨テ之ヲ指導スルダケノ財源ヲ持
タナイノデアリマスカラ、政府ハ
之ヲ助長シテ、金ダケハドシノ
出シテヤツテ、自主的ニ民間カラ
「スボー」復興ノ氣風ヲ作ルヤ
ウニ進メラレタイト思フノデアリ
マス、此ノ點ニ付テ特ニ注意ヲ要
スベキコトハ、國家ガ「スボー」
ノ統制ニ乗出スト云フコトガ如何
ニ誤リデアツタカト云フコトハ、
第二次世界大戰ノ勃發前ニ於ケル
「ドイツ」ノ「スボー」統制、或
ハ「イタリー」ノ「スボー」統
制、全體主義的ナ國家ニ現ハレタ
ル大キナ問題ガアルノデアリマス
カラ、此ノ點十分ニ御注意ガ肝要
デハナイカト思フノデアリマス

第三ニハ、文教ノ政策ノ面ニ於
テ從來極メテ智育偏重ノ教育ガ行
ハレタ、之ヲ一掃シテ圓滿ナル人
格ヲ有シ、個性ヲ完成サセル爲ニ
ドウシテモ伸ビノシタ「スボー
」ニ依ツテ之ヲ涵養シテ行クコ
トガ必要デハナイカ、隨テ智育一
本槍ノ方針ヲ戰時中ノ劃一主義、
或ハ體力酷使ニ屬シタヤウナ、ア
ア云フヤウナ政策ハ一切拂拭サレ
ナケレバナラナイト云フコトガ、
私ガ持つテ居ル第三ノ「スボー」
ノ行キ方デアリマス

更ニ第四ニハ「スボー」ノ民
主化、特ニ私ガ今日御尋ネラ致シ
テ居リマスル重點デアル所ノ「ス
ボー」ノ勤勞大衆ヘノ浸潤ト云
フコトヲ考ヘナケレバナラナイ、
是ハ最早餘リ饒舌ヲ要シナイト思
ヒマスノデ省キマスガ、同時ニ
「スボー」ガ大衆ニ滲透シテ行ク
ト云フコトト、階級闘争ノ具ニ供
セラレルト云フコトハ、是ハ十分
ニ警戒ヲシテ行カナケレバナラヌ
ト思フノデアリマスガ、文部大臣
ノ考ヘハ如何デアルカ、此ノ點ヲ
特ニ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス

更ニ最後ニ私ハ、我が國ガ將來
獨立國トナツタ曉、此一時ニ最モ
強ク國際的文化ノ交流ノ魁ニナル
モノハ、私ハ「スボー」ノ交驛
デハナイカ、斯様ニ考ヘルノデア
リマスガ「スボー」ノ國際的文
化交流ト云フコトニナリマス、
一番大キナ問題ニナルモノハ御承
知ノ如ク「オリンピック」大會ヘ
ノ參加ト云フコトノ問題デアリマ
ス、「オリンピック」大會ハ一九四
八年ニ「ロンドン」デ次回開カレ
ルト云フコトガ決定ニナツテ居リ
マスガ、日本ト「ドイツ」ノ招請

ニ付テハ、未ダ最後の段階ニ達シ
テ居ラナイト云フ「オリンピック」
コンミッテイ」ノ決定デアリマス
私ハ出來得ルナラバ速カニ「オリ
ンピック」大會ヘ參加シタイト云
フノガ、日本ノ青少年ノ希望デハ
ナイカト考ヘルノデアリマシテ、
是等ノ五點ガ今後ノ「スボー」
界ノ行クベキ途デアル、殊ニ勤勞
大衆ト云フモノト「スボー」ト
云フモノト結付ケテ行キ方ガ行ク
ベキ途デハナイカト思ヒマスガ、
文部大臣竝ニ厚生大臣ハ如何御考
ヘニナリマセウカ御尋ネ致シタイ
ノデアリマス

○田中國務大臣 川崎サンノ御質
問ニ御答ヘ申上ゲマス、文部省ガ
今後ノ「スボー」ニ付テドウ云
フ風ナ根本的觀念ヲ持つテ居ルカ
又其ノ振興ノ具體的方策如何ト云
フコトニ付テ先ヅ御答ヘ申上ゲマ
ス、今後ノ學校教育ナリ、社會教
育、勤勞大衆ヲ含メマシテ之ニ對
スル教育ニ於テ、智的教育、倫理
的教育ト竝ンデ體育、特ニ「スボー
」ガ非常ニ重要ナル意味ヲ持
ツト云フコトハ、是ハ此ノ文化國
家、平和國家ヲ再建シヨウト致シ
テ居リマス際ニ、ハツキリ確認シ
テ置カナケレバナラナイ事柄デア
ルト存ジマス、文部省モ此ノ根本
的精神ニ則リマシテ努力致シタイ
ト存ジテ居リマス、申スマデモナ
ク今日ニ於キマシテ、勤勞大衆ノ
體位ハ非常ニ以前ト比較シマシテ

低下致シテ居リマス、更ニ非常時
局中健全ナル娛樂ヲ失ツテ參リマ
シタ、サウ云フ點ニ於キマシテ、
體位ノ回復ト健全ナル娛樂ノ見地
カラシテ非常ニ有意義デアリ、又
其ノ目的ヲ達スルノニ最モ適當デ
アル「スボー」ヲ獎勵シナケレ
バナリマセヌ、尙ホ、併シ此ノ「ス
ボー」ハ、單ニ體位ノ向上トカ
娛樂トカ云フヤウナ意味ヨリモ、
更ニモツト人格ヲ作ル、精神ヲ本
當ノ意味ニ於テ健全ニシ、又鍛鍊
スル、鍊成的ノ意味デハアリマセ
ヌ、本當ノ意味ニ於テ人間ヲ作ル
ト云フ意味ニ於テ、私ハソコニ倫
理的ノ意義ヲ認メルノデアリマス
詰リ「フェヤ・プレー」ノ精神ヲ
通ジマシテ、公民教育ト云フコト
ニヤハリ「スボー」ガ役ニ立ツ
ト思フノデアリマス、昔カラ或ハ
「ギリシヤ」ナリ、或ハ「ローマ」

ニ於テ、或ハ東洋ニ於テ、日本ニ
於テモ形ハ色々違ヒ、種類モ同
デアリマセヌガ、併シ「スボー」
ガ常ニ文化ノ重要ナル一環トシテ
獎勵セラレテ參ツタノハソコニア
ルト存ズルノデアリマス、隨テ今
後ノ民主主義的、平和主義的教育
ノ缺クベカラザル一環トシテ「ス
ボー」ヲ大イニ獎勵シ、學校教
育ニ於テモ、又勤勞大衆ノ方面ニ
於キマシテモ、大イニ獎勵致シ
イト思フノデアリマス、所デ具體
的方策ニナリマス、殊ニ地方ノ
農村ノ青年達ノ間ニ健全ナル「ス

「ボー」ツ」ヲドウ云フ風ニシテ滲透サセルカド云フコトニナリマス

運動ノ如キ出廻ルノデハナイカト存ジテ居リマス

避ケナケレバナライ、是ハ「スボー」ツ」ニシテモ文化ニシテモサ

デ行カナケレバナラヌ、憲法ニ社

○川崎委員 一寸一言ダケ……

或ハ青年團ヲ、詰リ戰時中存在シテ居ツヤウナ意味ノ青年團デナ

次ニ、最後ニ簡單ニ意見ヲ述ベ

自性、文化ノ自性ヲ堅持シナ

テ居ル所以モ勿論「スボー」ツ」ガ重

大變満足ニ思ツテ居リマス、ソコ

達シテ參ルト思ヒマスカラ、ソレニ働キ掛ケマシテ便宜ヲ出來ルダ

面カラ拂拭スルコト、全ク是ハ焦

同感ニ極デゴザイマス

又最後ノ我が國ガ將來平和國家

ニハ、全國民ノ體育大會ヲ開キタ

又會社其ノ他ノ職場ニ於キマシテ

御同感デアリマス、ソレカラ「ス

ノ仲間入りヲ致シマス際ニ於キマ

「ト合ハヌ氣持モアリマスケレ

互ツテ非常ニ強イ、ソコデ其ノ大

ヤウニ努力致シタイト思ヒマス、

尤モ至極デアリマシテ、「スボー

微シテ明瞭デゴザイマス、特ニ、オ

於テ私ハ勞働者ト「スボー」ツ」ト重

ハ十分ニ計上サレテ行クカドウカ

文化、知識ノ文化トカ、教養ト

ノ間カラ湧キ出ナケレバナライモ

見透シガドウナルカ分リマセヌケ

大ナル關係ガアルト深ク信ズルモ

願ヒタイト思ヒマス

「スボー」ツ」ノ方面ニモ「ツ」セ

カラハ詰リ助長スルコト云フ立場ニ

我方國モ此「スボー」ツ」ノ方面ニ

於テ重要ナル役割ヲ演ズルト云フ

トノ關係ニ付テ御尋ネガアリマシ

所デ今日甚ダ資材ガ不足シテ居リ

トニナルト、ソコニ監督ナリ干渉

努力シ、又其ノ爲ニ準備ヲ致サナ

マス、是ハ其ノ點ニ於テ御見逃シ

ニナツタラ宜イト思ヒマス、此ノ

ドロカシイコトデゴザイマスガ、

ヲ付ケマシテ、助長ハスルケレド

「スボー」ツ」ト勞働者ノ關係ニ付テ

ニ「リッヒヒメニア」、是ハ日本ノ大

本議會ニ於キマシテ、教員ガ爭議

ハ、文部省ト致シマシテハ、例ヘ

モ干渉ハシナイト云フ建前デ進ミ

御質問ガアリマシタガ、是ハ言フ

マデモナク、民主主義國家ノ最終

ノ目的ハ、端のニ言ハバ文化生活

テ參ル、唯此ノ點ニ付キマシテハ

重ヲ排シ個性ヲ完成スルト云フ文

論物質的面バカリデナク、精神的

面ダト思ツテ居リマス、其ノ中ニ

於テ「スボー」ツ」面ハ非常ニ重大ナ

先ツ學童ノ需要ヲ考ヘナケレバナ

線ニ副ヒマシテ努力致シテ居ル次

テ御尤モト存ジマス

ソレカラ「スボー」ツ」ノ大衆化

ト同時ニ、政治的ニ「スボー」ツ」

リマセヌノデ、學童ニ付キマシテ

ガ利用セラレルト云フコトハ極力

是ハヤハリ國家ノ國ニトシテ進ン

ツテ吳レルト思ヒマス

○辻委員 文部大臣ニ御伺ヒシタ

ハ此ノ年度内一パイデ一人一足ト

居ル次第デアリマスガ、サウ云フ

方面ノ需要ヲ充スコトガ出來マス

ナラバ、漸次又一般勤勞大衆ニ運

○田中國務大臣 其ノ點事務當局

ト色々研究致シマシテ御趣旨ニ副

フヤウニ努力致シタイト思ヒマス

○逢澤委員長 辻君ニ前回ノ文部

大臣ニ關スル質疑ヲ許シマス

辻君

マシテ、運動具ノ如キ生産ノ方面

是ハ將來「スボー」ツ」ノミナラズ

他ノ方面ニ於テモ文部省ニ於テ氣

ヲ付ケマシテ、助長ハスルケレド

モ干渉ハシナイト云フ建前デ進ミ

タイト思ヒマス、ソレカラ智能偏

重ヲ排シ個性ヲ完成スルト云フ文

論物質的面バカリデナク、精神的

面ダト思ツテ居リマス、其ノ中ニ

於テ「スボー」ツ」面ハ非常ニ重大ナ

テ御尤モト存ジマス

ソレカラ「スボー」ツ」ノ大衆化

ト同時ニ、政治的ニ「スボー」ツ」

ガ利用セラレルト云フコトハ極力

是ハヤハリ國家ノ國ニトシテ進ン

ト記憶スルノデアリマス、私モ教員トシテ學童ニ對スル影響ヲ考ヘマスル場合ニ、或ハ「デモ」ヲヤリ或ハ要求書ヲ突付ケテ爭議ヲヤルト云フコトハ確カニ面白クナイト考ヘマス、併シナガラ爭議ガ若シ惡イノナラ、之ヲヤラサナイヤウナ十分ナ對策或ハ待遇ヲ御講ジニナル必要ガアレト思ヒマス、ツイ最近マデ、度々要求ヲ出シタリ或ハ地方ニ於テハ國民學校ノ教員ガ連袂辭職ヲシヨウトシタト云フヤウナ穩カデナイ報道モアリ、又文部大臣ノ所ニ代表ガ所謂ヘバリ込ミヲ掛ケタト云フヤウナ穩カデナイ出來事ガ相當續イタノデアリマス、併シ斯ウ云フ爭議ヲ起サナケレバ何等最低生活ヲ保障シテ貰ヘナカッタ、是ガ彼等ヲシテ已ムヲ得ズ不穩當ナル行動ニ出デシメタノデアリマス、若シ默ツテオトナシク爭議ヲヤラナイデ居ツタラ一體ドウナツタカ、殊ニ終戦以來組合ヲ作ツテ遠慮ナシニ爭議ヲヤリマシタ一般ノ勞働者、勤勞者ニ比ベマシテ、最モ劣惡ナ狀態ニ抛棄セラレテ居ツテ、其ノ結果若シ爭議ヲヤツテアノ要求ヲシナカッタナラバ——私ハ京都ノ市政或ハ政府ニ多少關係シテ居ツテ、絶エズサウ云フ陳情ヲ受ケ、事實モ承知シテ居ルノデアリマスガ、ドウシテモ俸給ダケデハヤツテ行ケナイ爲ニ、或ハ同窓會デアルトカ、或ハ父兄會デアリマスとか、或ハ

獎學會ト云フヤウナモノヲ作ツタリ、教育援護會ト云フモノヲ作ツタリシテ、當然國家ガ負擔シナケレバナラス所ノ俸給ノ援助、場合ニ依ツテハ相當多額ノ援助ヲ是等ノ同情ニ依ツテ得テ居ツタ、ソレデスラモ十分生活ノ保障ガ得ラレナイ爲ニ、此ノ間モ文部大臣ガ申サレタヤウニ、此ノ尊イ教育ノ任ニ携ハツテ居リマシデモ、總テガ聖人君子ヲ以テ律スルコトハ出來ナイ、食ヘナケレバ段々卑怯ニナリ、或ハ兒童ガ空地ヘ作ツタ野菜ヲバ先生ガ胡麻化ス、或ハ終戦以來多少配給ノアリマシタ物ヲバ教員ガ胡麻化シタト云フヤウナ、學童ノ前デ斯様ナコトヲ見セ付ケマシタナラバ、是コソ教育ノ上ニドレ程重大ナ恐レベキ惡影響ヲ來スカ分ラナイト云フヤウナコトガ、モウ到ル處ニ頻々トシテ行ハレテ居ル、私ハ斯ウシタ卑屈ナ生活ヲシテ、學童ノ前デ泥棒ニ類シタコトヲヤツタリ、實ニ乞食ノヤウナ生活ヲスルヨリモ、大事ナ國ノ仕事ニ從事シテ居ル限りハ、國ガ生活ノ保障ヲスベキハ當然デアル、ソレヲバシテ貰ヘナケレバ、堂々ト要求ヲスル、權利ヲ主張スル、ドウセ私ハ爭議ハ面白クナイト思フガ、今申上ゲタヤウナ卑屈ナ生活ヲシテ、之ヲバ學童ニ見セサルヨリモ、寧ろ堂堂ト團結ヲシテサウシテ爭議ヲ行ウテ、正當ナ主張ヲバ貫徹スベク男ヲシク闘フ方

ガ、學童ニ對スル影響ハ幾ラ其ノ方ガマシデアルカ分ラナイト云フヤウニ考ヘルノデアリマス、若シ待遇或ハ給與ノ點ニ付テ當局ガ十分ニ——十分ハ勿論敗戦ノ後デスカラ出來マセヌガ、少クとも他ト均衡ノ取レル最低生活ノ保障ヲシテ居ラレナイ場合ニハ、斯ウスルヨリ外ニ途ガナイノデアリマス若シ今後ニ於テモ、斯ウ云フ點ニ付テ十分ナ當局ニ何カ對策ヲ立テラレ、考慮ガ拂ハレナイ限りハ、此ノ好マシクナイ爭議ガ相變ラズ私ハ起ルト思ヒマス、起ルノガ當然デアリ、是ハ已ムヲ得ヌト思ヒマス、此ノ點ニ對シテ果シテ當局ハ此ノ御好ミナラス、不穩當デアルト御認メニナリマスル爭議ヲ起サセナイヤウニ如何ナル對策ヲ御持チニナツテ居ルカ、此ノ點ニ付テ私ハ一應御伺ヒシタイト思ヒマス

○田中國務大臣 教員ノ待遇ヲ一般勤勞者ヨリモ甚ダ劣ツタ水準ニ置イテオキマシタ、サウシテ他面爭議ハシテハナラナイト云フ明文ヲ設ケル、或ハ明文デナクとも道德的ニサウ云フ大衆行動ヲ否定スルヤウナ態度ニ出マスコトハ、是ハ教職員諸君ニ取ツテ甚ダ相濟マナイコトダト思ツテ居リマス、所デ從來ノ我が國ニ於キマス教職員ノ待遇ハ、一般官吏ヨリモ甚ダ劣ツタ狀態ニ置カレテ居ルノデアリマス、一方教職員ハ仕事ノ性質上、其ノ仕事ヲ停止シマシテモ直グニ社會國家ノ或ル目ニ見エタ機能ヲ害スルト云フヤウナ譯デハアリマセヌノデ、サウ云フ意味ニ於テ目ニ見エタ意味ノ力ヲ持ツテ居ナイ、他方又教職員トシテノ品位ヲ要求サレテ居リマスカラ、サウ云フ意味ニ於テモ露骨ナル要求ヲナスト云フヤウナコトハ適シナイ、或ル意味ニ於テ勞働爭議的ニ考ヘマス不利ナ狀況ニ置カレテ居ルノデアリマス、隨テ社會國家ハサウ云フ教員ノ地位ニ付キマシテ十分ナ理解ト同情ヲ持ツテ、要求セラレタコトモ教員ノ待遇ヲ少クトモ官公吏ノ「レベル」マデ上ゲルト云フコトニ努力シナケレバナラナイト云フコトニ付キマシテ、文部當局ハ非常ナ熱意ヲ持ツテ努力致シテ居リマス、幸ヒニ大藏省又其ノ他ノ關係各方面ノ理解アル支持ニ依リマシテ、此ノタビ國民學校ト青年學校ノ教職員ニ付キマシテハ、一般官公吏ノ水準マデ追付クト云フヤウナコトニ付キマシテ成案ヲ得マシテ、豫算ノ中デ御諮ルルコトニナル段階ニ至ツテ居リマスロトハ、我々ト致シマシテハ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマス、是ハ全ク今後ノ文教ト云フモノノ使命ガ實ニ重大デアルト云フコトニ付キマシテ社會國家ノ輿論ガ、ソコマデ發達シテ來タト云フコトノ結果ニ外ナラナイト存ジテ居ル次第デアリマス、要スルニ

此ノ問題ニ付キマシテ文部當局ト致シマシテハ、教員ノ待遇ハ今後ノ文化國家、平和國家ノ建設ニ對シマシテ、教育ガ特ニ重要ナル意味ヲ持ツテ居リマス關係上、一般官公吏ヨリモモツト優遇シテ貰ヒタイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ爭議ノ必要ノナイヤウニ政治ノ面ニ於キマシテ努力シナケレバナラナイ、法律問題ニナラナイヤウニスルノガ詰リ政治ノ要諦デアリマス文教ニ付テハ特ニサウ云フ方向ニ向ツテ今努力致シタイト存ジテ居リマス

○辻井委員 只今ノ大臣カラノ御答辯ニモアリマシタシ、又最近一應組合ガ納得ヲシテ當局ノ案ヲ承認シタト云フコトモ聞イテ居リマスガ、併シ現在ノ經濟情勢ヲ見マスト「インフレ」ハ決シテ止マルモノデハナイ、マダ相當昂進シテ行クノデハナイカト云フノガ専門家ノ意見デモアリマシテ、此ノ情勢ガ續キマスナラバ一應解決ヲシマシテモ、今後又何モ待遇改善ノ問題ガ起ツテ來ルト思ヒマス、其ノ都度數ヶ月週ツテ支給スルトカ何トカ云フコトニナリマス、幾ラ貰ヒマシテモドレ程其ノ爲ニ苦痛ヲ感ズルカ分ラヌノデアリマシテ、唯當局ガ天降リニ考慮シテ出來ルダケ良クシテヤルト云フノデハナシニ、一般ノ事業ニ於キマシテハ經營協議會ト云フヤウナモノ

モ出来テ居ルノデアリマス、是ハ厚生大臣ニモ御聽キシタイト思ヒマスガ、單ニ文部省關係ダケデハナシニ、一般ノ官吏トソレカラ當局トノ間ニ絶エズ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ協議シ折衝シテ、サウシテ爭議ヲ未然ニ防イデ、出来ルダケ經濟情勢ニ即シテ待遇ヲ與ヘルヤウニシテ行クト云フヤウナ方法ガ私ハ是非必要デアルト思ヒマス、民主的ナ方法ニ依ツテ當局ト一般ノ官吏トガ絶エズ折衝ヲシ、適當ナル條件ヲ以テ俸給給料ヲ決定シテ行クト云フヤウナ機關ガナケレバ、私ハ何回デモ同ジコトヲ繰返サナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ對シテ何カ具體的ニ御考ヘガナイカドウカ、此ノ點ヲモウ一應御伺ヒシタイト思ヒマス

○田中國務大臣 只今御指摘ノ點ハ文部當局ト致シテモ憂ヘテ居ル所デゴザイマス、今後ノ物價ノ昂騰ノ趨勢ガドウナルカ、一體ドウ云フ風ニシテ「インフレ」ノ惡循環カラ免レルコトガ出来ルカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ單ニ教職員ノミナラズ一般官吏、或ハ私ノ團體役員ナリ、從業員ナシカニ皆關係ノアルコトデアリマス、文部省ト致シマシテハ其ノ點全國教職員ノ代表ノヤウナ意味ニ於キマシテ、今後大藏省給與局ト云フモノガ出来マシタノデ、サウ云フ方面ニ對シテ大體教職員ノ日常生活

活ニ付テ色々ノ直接ニサウ云フ方面ノ意見ヲ十分聽キマシテ、常ニ連絡ヲ斷タナイヤウニ致シテ善處致シタイト思フテ居リマス

○辻井委員 是ハ一般ニ關係ノアル問題デアリマスカラ、大藏大臣ガ御見エニナリマシタ場合ニ改メテ御伺ヒシタイト思ヒマス、是デ私ノ質問終リマス

○邊澤委員長 山田善三君 ○山田(善)委員 私ハ文部大臣並ニ厚生大臣ニ數項ノ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ只今既ニ御質問ガアリマシタガ、先日本會議ノ席上デ文部大臣ハ、教員ノ勞働爭議ハ教員タルコトノ矜持ト自覺ヲ基礎トシテ、其ノ精神カラ來ル協調精神ノ精神ニ依ツテ絕對爭議ヲ起サセナイヤウニ指導スル自信アリト云フコトヲ御言明ニナツタヤウニ記憶致シテ居リマス、併シ斯クノ如キ信念ガ何處カラ生レタカト云フコトヲ想像致シマスルナラバ、必ズ之ニハ或ル程度ノ實體ガ伴フコトヲ豫想シナケレバ出來ナイト思ヒマス、即チ教員ト雖モ食ハナケレバ生キテ行ケナイ、故ニ教員ノ待遇ヲ十分ニスルコトニ依ツテ此ノ爭議ヲ未然ニ防ギ得ル自信ガ生レタコトデアラウト、私ハ想像致シテ居リマス、然ラバ文部大臣ハ、只今モ御述ベニナリマシタヤウニ、極端ニ菲薄ナ待遇ニ甘ンジテ來タ教員ノ生活權ヲドノ程度マデ文部大臣ノ自信ヲ裏付

ケルニ足ル優遇ノ途ヲ御講ジニナツテ居ルカ、只今ノ御答辯ニ依リマスルト、官吏並ニスル計畫アリト云フコトヲ仰セラレタヤウデアリマスガ、仄聞スル所ニ依リマス、今回ノ官吏ノ増俸五割程度ノ引上ゲダト云フヤウナコトモ私伺ツテ居リマスガ、今頃官吏ノ月給ヲ五割位上ゲテモ燒石ニ水デアアル今マデノヤリ方ガ總テ後カラノ追ウテ行ク結果、殆ド其ノ效果ヲ發揮シテ居ラナイ、殊ニ教育者ノ場合ハ是ガ甚ダシク低イ、少々上ゲタ程度デハ文相ノ斯クノ如キ強イ信念ヲ裏付ケスル基礎ニハナラズデヤナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、若シ御分リニナルナラバ、ドレ位御上ゲニナル豫定デア

ルカ、又其ノ時期ハ何時御實行ニナルカ、之ヲ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス、尙ホ國民學校ノ教師ハ此ノ程度ニ上ゲルト云フ御話デアツタヤウデアリマスガ、中等學校ハ其ノ中ニ入ラナイカ、私ノ見ル所デハ、國民學校ハ相當廣イ關心ヲ買ツテ居ツテ、其ノ精神の待遇ニ於テモ、又其ノ物質的待遇ニ於テモ相當ナ關心ヲ持タレテ向上シテ來タ跡ガアリマスルガ中等教員ハ全ク放ツテアツタ狀態デアリマス、殊ニ奏任待遇ノ數ニ關スルモノノ如キモ、國民學校ニ比ベテ全ク近年何等ノ施策ガ講ゼラレテ居ラヌノデアリマス、何ガ故ニ中等教員ヲ格別ニ斯クノ如ク

虐待サレルカ、之ヲモウ少シ優遇サレル意思ハナイカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマスソレカラ第二ニ先ヅ此ノ勞働組合法竝ニ此ノ調整法ナドノ如キ勞働立法ハ、元々社會主義的ナ思想或ハ共產主義的ナ思想ヲ母體トシテ發展シテ來タモノト私ハ考ヘマス、サウ致シマスルト斯クノ如キ運動ガ段々熾烈化シ、段々向上シテ強ク強調サレルヤウニナリマスルト、結局其ノ母體タル思想ノ影響ヲ受ケマシテ、教員ノ思想ガ或ル偏狹ナル思想ニ固マリ來リ、或ハ又特定ノ殊ニ利己的ナ利用ニ供サレルヤウナ政黨ノ思想ヲ持ツテ來ル、サウナルコトガ必然ノ結果デハナイカト私ハ考ヘル、是ガ物ヲ造ル生産事業デアリマス、サウ云フ思想モ大シタ影響ヲ持タナイノデアリマスガ、苟モ魂ノ製造ヲヤル教育者ガ或ル一種ノ偏ツタ思想ヲ持チ、或ル特定ノ政黨ニ屬シ、政黨運動ニ熱中シ、或ハ其ノ政黨ノ主張スル主張ヲ堅持スルト云フコトニナリマス、ソレヲ通シテ全國民ノ魂ガ大キナ變動ヲ生ズルニ至リハセヌカト云フ憂ヒヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ文部當局ハ如何ニシテ之ヲ是正シヨウトサレルカ、又此ノ思想ノ善シ惡シハ別トシテ、サウ云ウタ行キ方ガ良イカ惡イカ、惡イトスレバ如何様ニシテ之ヲ防ガントスルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ申上ゲタ

イト思ヒマス

第三ニハ、最近ノ教員組合ノ動キヲ見テ居リマス、私共ノ見ル所デハ、只今マデ教員組合ガヤツテ來タ道ハ、普通ノ勞働者ノ行フ勞働運動ト大シタ變リガナイヤウニ思ヒマス、殊ニ最近教員組合ノ仲間デ考ヘラレテ居リマスコトハ教育會ヲ解散シテ勞働組合ニ吸收スル、サウシテ勞働組合ガ教育ノ研究ヲヤリ、思想ヲ涵養ヲヤル、恰モ一種ノ思想團體デアリ、或ハ政黨化スルヤウナ傾向ニ赴キツ、アルヤウナ氣ガ致シマス、私ハ教員組合ノヤルベキ仕事ハ自ラ其ノ分野ニ相違ガアリ、何レモ異ナツタ目的デ教員ノ地位向上ヲ圖リ、教育者ノ身分ヲ高メ、其ノ修養ヲ圖ル途ガアルト思フノデアリマス、然ルニ最近ノ教員組合ノ動キハ、何デモ彼デモ此ノ教員組合ナル勞働組合一本デ行カウト云フ傾向ガ非常ニ大キイヤウニ感ジテ居ル、之ニ對シテ教育會ノ存續問題ハ文部省ニ直接關係ハナイカモ知レマセヌガ文部大臣トシテノ御意見ハ、教育會ハ教育會トシテ其ノ職分ヲ護リ立テテ行ツタ方ガ宜イト御考ヘニナルカ、或ハ教員組合ノ勞働組合ノ中ニ吸收シテ、何モ彼モ一緒ニ是デヤルノガ宜イ、斯様ニ御考ヘニナルカ、大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

次ニ厚生大臣ニ一、二項御尋ネ

モ出来テ居ルノデアリマス、是ハ厚生大臣ニモ御聽キシタイト思ヒマスガ、單ニ文部省關係ダケデハナシニ、一般ノ官吏トソレカラ當局トノ間ニ絶エズ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ協議シ折衝シテ、サウシテ爭議ヲ未然ニ防イデ、出来ルダケ經濟情勢ニ即シテ待遇ヲ與ヘルヤウニシテ行クト云フヤウナ方法ガ私ハ是非必要デアルト思ヒマス、民主的ナ方法ニ依ツテ當局ト一般ノ官吏トガ絶エズ折衝ヲシ、適當ナル條件ヲ以テ俸給給料ヲ決定シテ行クト云フヤウナ機關ガナケレバ、私ハ何回デモ同ジコトヲ繰返サナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、斯ウ云フ點ニ對シテ何カ具體的ニ御考ヘガナイカドウカ、此ノ點ヲモウ一應御伺ヒシタイト思ヒマス

○田中國務大臣 只今御指摘ノ點ハ文部當局ト致シテモ憂ヘテ居ル所デゴザイマス、今後ノ物價ノ昂騰ノ趨勢ガドウナルカ、一體ドウ云フ風ニシテ「インフレ」ノ惡循環カラ免レルコトガ出来ルカト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ單ニ教職員ノミナラズ一般官吏、或ハ私ノ團體役員ナリ、從業員ナシカニ皆關係ノアルコトデアリマス、文部省ト致シマシテハ其ノ點全國教職員ノ代表ノヤウナ意味ニ於キマシテ、今後大藏省給與局ト云フモノガ出来マシタノデ、サウ云フ方面ニ對シテ大體教職員ノ日常生活

活ニ付テ色々ノ直接ニサウ云フ方面ノ意見ヲ十分聽キマシテ、常ニ連絡ヲ斷タナイヤウニ致シテ善處致シタイト思フテ居リマス

○辻井委員 是ハ一般ニ關係ノアル問題デアリマスカラ、大藏大臣ガ御見エニナリマシタ場合ニ改メテ御伺ヒシタイト思ヒマス、是デ私ノ質問終リマス

○邊澤委員長 山田善三君 ○山田(善)委員 私ハ文部大臣並ニ厚生大臣ニ數項ノ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ只今既ニ御質問ガアリマシタガ、先日本會議ノ席上デ文部大臣ハ、教員ノ勞働爭議ハ教員タルコトノ矜持ト自覺ヲ基礎トシテ、其ノ精神カラ來ル協調精神ノ精神ニ依ツテ絕對爭議ヲ起サセナイヤウニ指導スル自信アリト云フコトヲ御言明ニナツタヤウニ記憶致シテ居リマス、併シ斯クノ如キ信念ガ何處カラ生レタカト云フコトヲ想像致シマスルナラバ、必ズ之ニハ或ル程度ノ實體ガ伴フコトヲ豫想シナケレバ出來ナイト思ヒマス、即チ教員ト雖モ食ハナケレバ生キテ行ケナイ、故ニ教員ノ待遇ヲ十分ニスルコトニ依ツテ此ノ爭議ヲ未然ニ防ギ得ル自信ガ生レタコトデアラウト、私ハ想像致シテ居リマス、然ラバ文部大臣ハ、只今モ御述ベニナリマシタヤウニ、極端ニ菲薄ナ待遇ニ甘ンジテ來タ教員ノ生活權ヲドノ程度マデ文部大臣ノ自信ヲ裏付

申上ゲタイト思ヒマス、此ノ勞働關係調整法ノ全體ノ性格ヲ見テミマス、ドウモ勞働者ノ請求權或ハ爭議——勞働者側カラ起ツタ此ノ抗議ヲ抑ヘテ解決スル、サウ云ツタヤウナ色彩ガ非常ニ濃厚デア、爭議ガ起リマスノハ申スマデモナク勞働者ノ請求權或ハ要求或ハ其ノ生活權ノ主張ガ必ズシモ不當、行キ過ギトダケ斷ズル譯ニ行カスト思ヒマス、ヤハリ之ニハ資本家タル企業家ガ非常ニ惡條件ノ下ニ勞働者ヲ驅使スル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ搾取スルト云ツタヤウナ側ノ缺點モ相當ニアルノデアリマス、ソコカラ爭議ヲ勃發サセム場合モ可ナリニアルト思ヒマス、サウ致シマスナラバ此ノ兩方ノ缺陷ヲ補ヒ、私ヲ以テ言ハスナラバ勞働權ヲ保護スルト云フ建前カラ爭議ヲ解決スルト云フヤウナ色彩ヲ帶ビテ實ヒタイ、一ツハ勞働爭議ガ發生シタ場合ニ之ヲ取上ゲテ調致スル、一ツハ發生スル處ガアル場合ニ未然ニ防止スルト云フデアリマスガ、勞働爭議ノ發生スル處アル場合ニ之ヲ未然ニ防グト云フコトハ、少シ行キ過ギルト直グ爭議ヲ彈壓スルト云フ形ニナルデアリマス、苟クモ爭議ガ起ラントスル芽ガ一寸出ルト直グ抑ヘテモウヤラセナイ、斯ウ云フコトガ頻發致シマスナラバ爭議ガ絶對出來ナイト云フ形ニ之ヲ抑ヘ付ケルコトニナルト思フ、コ、ラガ

勞働者ノ反對ヲ買ツテ居ル一ツノ原因デハナイカト私ハ考ヘル、此ノ豫防ニ名ヲ藉ツテ彈壓スル、詰リ豫防ト彈壓トハ正ニ紙一重デアリマス、殊ニサウ云フコトガ激シクナリマスト勞働者ハ又別チコトヲ考ヘテ、突如トシテ爭議ヲヤルサウ云フ形ニ出テ來ルダラウト思フ、第六條ニ規定シテアルヤウニ爭議ガ發生スレバ届出ノ義務ガアルガ、發生スル前ニハ届出ルヨスガモナイカラ突如トシテヤル、ヤラナケレバ抑ヘラレル、斯ウ云フコトニ段々發展シテ行キハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、サウ云フヤウニナツテ參リマスト今度ハ豫防ガ出來ナクナル、此ノ豫防ヲ強クヤラウト思ヘバ彈壓ニナル處アリ、彈壓ヲ止メヨウトスレバ豫防ガ出來ヌ、斯ウ云フ結果ニナルト思ヒマスガ、之ニ對スル厚生大臣ノ御考ヘハ如何デアルカ御尋ネ申上ゲタイト思ヒマス

第二ニハ銀行ヲ公益事業ト御考ヘニナラヌカ、近頃ノ銀行業ハ著シク公益性ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、殊ニ五百圓生活或ハ封鎖預金ト云フコトカラ考ヘマス、若シ銀行ニ爭議ガ發生シテ、長イコト其ノ事務ヲ停止致シマスレバ、其ノ日ノ生活資金ヲ出スコトガ出來ナイト云フヤウナコトニナル處ガ多分ニアリハシナイカ、之ニ對シテ銀行業ヲ公益事業ト御指定ニナル意思ガアルカドウカ、御尋ネ申

上ゲタイト思ヒマス

第三ニハ爭議發生ノ處アル場合ニ此ノ勞働調整法ヲ御活カシナツテ、發生シタ場合ニ之ヲ抑ヘルコトモ一ツデアリマセウガ、勞働條件ノ惡イト云フヤウナ企業ニ對シマシテ、寧ロ此ノ法案ヲ活カシテ積極的ニ勞働ヲ保護スルト云フ建前カラ、事前ニ積極的ニ働キ掛ケテ勞働條件ノ改善ニ乗出ス、サウ云フコトニ依ツテ爭議ヲ豫防スル、サウ云フ御考ヘハナイカ、若シ此ノ方面ニ御力ヲ入レタラ別ニ勞働保護法ト云フヤウナモノガ出來ナクテモ、是レ一本デモ其ノ目的ヲ達成出來ルモノト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル厚生大臣ノ御考ヘヲ承リタイ

○田中國務大臣 山田サンノ御質問ノ三ツノ點ニ付テ御答ヘ申上ゲマス

第一ノ教職員ノ待遇問題デゴザイマスガ、私ハ教員ノ待遇ヲ爭議ノ途ニ出ル必要ノナイヤウニ改善シナケレバナラナイト云フコトニ付テ、決心ト熱意ヲ以テ努力致シテ居ル譯デアリマス、唯併シ絕對ニ教職員ガ爭議ノ手段ニ出ナイト云フコトニ付テ、其ノ點ノ自信ト云ツタモノハ持ツテ居ル譯デハゴザイマセヌ、唯教職員ガ爭議行為ノ途ニ出ルコトガ教育ノ使命、特ニ被教育者ニ對スル人格的ニ關係ヲ重ンズル所ノ其ノ教育ノ使命カラシテ、不適當デアルト云フコ

トヲ明言スルコトニ付テ自信ヲ持ツテ居ルト云フ意味デゴザイマス

ソレカラ待遇ヲ下ノ程度引上ゲルカト云フコトニナリマス、先程御答ヘ申上ゲマシタヤウニ官公吏並ニ引上ゲルト云フコトデゴザイマス、唯併シ問題ハ官公吏並ニ引上ゲマシテ満足シテ居ル譯デハアリマセヌ、今度ハ一般官公吏ノ増俸、ソレハ或ハ不十分ナモノデアルカモ知レマセヌガ、其ノ増俸ノ際ニ教職員モ勿論均霑スルコトヲ豫想シテ居ルモノデアリマス、ソレカラ御尋ネニナリマシタ中等學校以上ノ教職員ノ待遇、是モ甚ダ不満足ナモノデアリマシテ、特ニ此ノ點ニ付テモ追加豫算ニ於キマシテ出スト云フコトヲ今具體案ヲ作成致シマシテ、大藏省、其ノ他關係方面ト折衝致シテ居ル次第デアリマス、詰リ此ノ度本豫算ニ提出サレマスノハ國民學校ト青年學校、詰リ非常ニ多數ノ教職員大衆デアリマスガ、併シナガラ其ノ待遇改善ノミヲ以テ満足シナイデ中等學校、高等專門學校及ビ大學マデ及ブ趣旨デ努力致シテ居リマス

第二ニ教員ノ思想問題デゴザイマスガ、只今ノ御質問ノ御趣旨ハ我々ト致シマシテモ非常ニ御尤モニ存ジマス、實ハ憂慮致シテ居リマスガ、之ニ付キマシテハ、詰リ教育者ノ使命ト云フコトニ本當ニ徹底シマス以上ハ、教職員ガ或ル一黨一派ノ思想ヲ持ツテ居リマシ

テモ、少クトモ學園内ニ於テハ公正ナル教育的ノ使命ヲ果サナケレバナラナイノデアリマシテ、此ノ教育ト政治トノ關係ヲ教職員ニ對シテ明瞭ニ致シマシテ、公平ナ立場ニ於テ其ノ職務ヲ遂行スルヤウニ、其ノ態度ニ付キマシテ決シテ官僚的ノ命令ヲ下ス譯デハアリマセヌケレドモ、併シサウ云フ方向ニ教職員ノ再教育ヲ行ヒタイ、其ノ手段ハ色々ゴザイマスガ根本的ニハ教員養成制度カラ反省シテ掛ラナケレバナリマセヌガ、併シ社會教育ノ方面或ハ特ニ大學ノ擴張講座或ハ其ノ他高等專門學校ノ先生方ヲ動員致シマシテ、健全ナル政治思想、公民的ノ考ヘヲ普及スルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス

ソレカラ最後ニ御質問ニナリマシタ教員組合ノ最近ノ動向ノ問題デアリマスガ、是モ御同感至極デアリマシテ、文部省ト致シマシテハ、大日本教育會ト云フモノガ全國的ノ組織トシテ存在シテ居リマス、是ハヤハリ戰時中ニ於テ持ツテ居ツタ色々ナ傾向ヲ拂拭シナケレバナラナイコトハ當然デゴザイマス、而シテ休戦後ニ於キマシテ必ズシモ潑刺トシテ活動シテ居ナイト云フコトモ事實デアマス、其ノ方面ハ大イニ活ヲ入レネバナリマセヌ、併シナガラ或ル意味ニ於テサウ云フ不満足ナ點ガアルトハ雖モ、教員組合ノ目的ト教育會ノ

目的トハ全ク違フノデアリマス、
隨テ教員組合運動ガ如何ニ盛シニ
ナツテモ、ダカラシテ教育會ヲ廢
メテシマハナケレバナラナイト云
フコトニハナラナイト思ヒマス、
文部省ト致シマシテハ教育會ノ改
組及ビ充實ト云フ方向ニ向イテ居
ルト云フコトヲ申上ゲルコトガ出
來ルト思ヒマス

○達澤委員長 此ノ際山田君ニ御
路リ致シマス、文部大臣ハ憲法改
正委員會ノ方ニ出席ヲ要求サレテ
居リマスカラ、文部大臣ニ對スル
再質問ガアリマシタラ、此ノ際ド
ウゾ

○山田(善)委員 是デ打切りマス
○河合國務大臣 只今ノ山田君ノ
御質問ニ御答ヘ致シマス、此ノ法
案ハ勞働者側ノ爭議ヲ抑ヘルト云
フコトノ心配ハナイカ、サウ言フ
面カラ此ノ法案ハ出來テ居ルノデ
ハナイカト言フ意味ノ御質問デゴ
ザイマシタガ、大體斯ウ言フ勞働
法規ハ、言フマデモナク、ドウシ
テモ爭議ニ對スル問題ガ中心デア
リマシテ、爭議行爲ハドウシテモ
大部分ハ勞働者側カラ起ルモノナ
ノデアリマス、ソレデハハリ勞働
者側ノ行爲ヲ中心ニシテ法律ト云
フモノハ大體案ヲ立テ、行クヤウ
ナ形ニナルモノト私共ハ承知致シ
テ居リマス、ソレデ前々説明シマ
シタ通りニ、調整法ト云フモノハ
端的ニ言ヘバ、第一ノ點ハ勞働組
合法ニ調停トカ仲裁トカ言フコト

ガ善イデアアルガ、ソレガハツキリ
シテ居ラヌ、調停、仲裁ト云フモ
ノハドウ云フ性質ノモノデアツテ
ドウ云フ場合ニドウヤルカト云フ
コトヲ此ノ法律デ書クノガ妥當デ
アルト云フコトデ此ノ法律ノ一面
ガ出來テ居ルノデアリマス、モウ
一ツノ面ハ言フマデモナク公益ノ
面デアリマス、爭議權ト云フモノ
ハ絕對無限ノモノデナク、自ラソ
コニ公益トノ調和ガアル、其ノ調
和ヲドコニ求メルカト云フコトヲ
明示スルニアラズンバ、國家生活
モ國民日常生活モ危殆ニ瀕スル虞
レガアルノデアリマス、ソコデ此
ノ法律ニ於テ其ノ點ヲ書イタト云
フ二ツノ意圖以外ニ何等ノ意圖ヲ
持チマセヌ、決シテ片一方ヲ最良
スルトカ、片一方ヲ抑壓スルトカ
云フヤウナ考ヘハ微塵モ持チマセ
ヌ、ソレデハ資本家側ニ對シテド
ウスルカ、資本家側或ハ經營者側
ノ勞働爭議ガ起キタ原因ニ付テド
ウ考ヘルカト云フ御話ニナリマス
ト、勞働關係調整法以外ニ更ニ勞
働保護法ト云フモノヲ此ノ次ノ議
會ニ提案シタイト思ヒマスガ、ソ
レ以外ニ採リ上ゲテ、斯ウ云フ點
ヲ斯ウシナケレバナラヌト云フヤ
ウナ面ガアリマスレバ、是ハ又法
律事項トナル必要モアリマセウガ
大體爭議ニ對スル調停デスカラ其
ノ必要ハ私共ハナイト思ツテ居リ
マス、併シナガラ資本家「サボ」、
生産「サボ」ノヤウナ問題ニ付テ

ハドウカト云フ御議論モアルト思
ヒマスガ、是等デ問題ハ勞働爭議
ノ問題ト云フヨリモ、主トシテヤ
ハリ國家ノ公益擁護、増産ト云フ
面デアリマス、生産増加ト云フ面
デアリマス、サウ云フ面ニ對スル
關係ガ非常ニ深イノデアリマシテ
ソレハ本議會ニ於テ申シ上ゲマシ
タ如ク、其ノ生産「サボ」ヲ禁止
シタリ、或ハ第三者ニ經營ヲ委任
シタリスルコトノ出來ル法律ヲ準
備シテ居リマス、ソレハ所管ハ商
工省デアリマスケレドモ、ソレカ
ラ當然出テ來ルコトト思ヒマシテ
其ノ面ニ對スル備ヘハ致ス積リデ
居リマス、サウ云フ風ニ御諒承願
ヒタイト思ヒマス

ソレカラ勞働爭議ノ起ル處ガア
ルト云フコトニ點シテ、ソレハ彈
壓ト紙一重デヤナイカト云フ御話
デアリマス、是ハ法律觀念トシテ
ハ御尤モデアリマシテ、彈壓ト云
フト少シ言葉ガ過ギルカモ知レマ
セヌガ、之ヲ制限スルト申シマス
カ、制限ト豫防ト云フ言葉ハ言フ
マデモナク法律觀念トシテ非常ニ
近い、紙一重ト云フテ宜カラウト
思ヒマス、之ヲドウ扱ツテ行クカ
ト云フコトハ非常ニ難カシイコト
デ虞アリト云フコトヲ書ク代リニ
何カ方法ハナイカト思ヒマシテ、
色々民間モ我々モ苦心ヲシタノデ
アリマスガ、ヤハリ言葉ガナイノ
デ已ムヲ得ズ之ヲ書キマシテ、サ
ウシテ是ハ最後ハ裁判所ノ判定ニ

任セルト云フヨリ途ガナイノデア
リマス、併シナガラ實質ニ立入り
マス決シテ御心配ノ點ハナイト
思ヒマス、ト申シマスノハ、是ハ調
停ノ問題、仲裁ノ問題デアリマス
調停ト云フノハ決シテ其ノ結果ヲ
強制スルモノデアリマセヌ、ソレ
カラ仲裁ト云フモノハ是ハ納得ノ
上デ仲裁ヲスルノダカラ是ハ強制
サレテモ仕様ガナイト云フ建前ニ
ナツテ居リマスカラ、是デ彈壓ト
云フコトハ起キナイト思フ、併シ
ナガラ公益事業ニ關スル問題ハ別
デ、公益事業ニ對シテ尖鋭ノナ時
ニ是ハドウ云フ働キヤスルカト云
フコトハ運用ノ甚ダ難カシイ問題
デアルト云フコトハ、私モ同感デ
アリマス、併シ世ノ中ニハ難カシ
イコトモアルノデスカラ是ハドウ
モ仕方ガナイ、是レ以上名案ガア
リマシタガ又我々モ考ヘマスト云
フコトデアリマス、併シナガラ總
テ爭議ガ起キテカラソレヲ始末ス
ルト云フ事態バカリデハヤハリ公
益擁護ガ出來マセヌ、起ル前ニヤ
ハリ注意ヲシナクテハナラヌコト
ハ社會常識カラ當然ノコトデア
ル

斯ウ考ヘテ居リマス
ソレカラ第二ノ問題ハ銀行ヲ公
益事業ト認メルカト云フ御話デア
リマシタガ、只今ノ所デハ公益事
業トハ認メテ居リマセヌ、併シソ
レデハ公益事業ニ又臨時ニ指定ス
ルト云フコトヲヤル積リカト云フ
御質問モ出テ來ルカト思ヒマスガ

是ハ勞働委員會ノ議ヲ經テヤルコ
トニナツテ居リマスガ、只今ノ所
デハ之ヲ指定スル考ヘヲ持チマセ
ヌ、併シナガラ御話ノ通り國民生
活ニ非常ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居
ル問題デアリマスルカラ、情勢如
何ニ依ツテハ更ニ追加指定ト云フ
コトヲ考ヘテ、ソレヲ勞働委員會
ニ提案シナクテハナラヌヤウナ事
情ニナラヌト云フコトヲ斷言スル
譯デヤアリマセヌ、ソレカラモウ
一ツ第十八條第五號ニ於テ特別ナ
性質ヲ持ツテ居ル事業ハ必要ガア
レバ強制調停ガ出來ルト云フ規定
ガアリマスノデ、是ハ特別ノ性質
ヲ持ツテ居ル事業ト認メルコトガ
出來ルト云フ風ニ考ヘテ居リマス

ソレカラ第三ノ問題ハ、勞働條
件ノ改善ニ政府ガ乗出シテヤツタ
ラ宜イデヤナイカ、サウスレバ勞
働問題ハ解決スルデヤナイカト云
フ御趣旨、是ハモウ御尤モノ御所
説ト思ヒマスガ、中々勞働條件ト
云ヒマシテモ、世界ガ天國デナイ
限りハ、ヤハリ勞働者ト資本家側
トガビツタリ氣持ガ一ツニナルト
云フコトヲ全般的ニ考ヘル譯ニモ
行カヌ、是ハモウ浮世ノ常ダト私
共ハ思ツテ居リマスノデ、出來ル
ダケ勞働條件ノ改善ニ付テ乗出ス
ベキデアリ、又乗出シタイト思ヒ
マスケレドモ、是ダケデ全部ガ解
決出來ルト云フ風ニハ考ヘマセヌ
ソレカラ又勞働條件ニ關スル事項
ハ勞働者ノ權利トシテ法律ニハツ

キリ書イタ方宜イト思ヒマスカラ目下世間ノ輿論ヲ聽イテ居ル最中デアリマス、出來ルダケ速イ機會ニ於テ議會ニ提案シテ、御協賛ヲ得ル積リデアリマス

○逢澤委員長 安平鹿一君

○安平委員 先程瀧澤君ノ質問ニ厚生大臣ハ御答ヘニナリマシテ、松岡氏ノ本會議ニ於ケル質問ノ如ク、本案ノ内容ハ否認シテ居ルノデハナイガ、政府ニ對スル不信ト云フコトガ問題ナノダト云フヤウナ御話デアリマシタガ、此ノ點ハ少クトモ、組織サレタ労働者ハ全面的ニ本案ニ反對シテ居ルト云フコトヲ先づ最初ニ申上ゲテ置キマス、先達テ十八日ノ本委員會ニ於キマシテ、川崎君ニ答ヘルノニ、労働組合ト本案トハ姉妹關係ニア

ルメダ、隨テ双方トモ日本ノ經濟ノ興隆ヲ企圖シタモノガアル、本法ハ其ノ妹分ニ當ルモノダト云フ風ニ御答ヘニナリマシタガ、妹ニモ色々アリマス、小姑のナ妹ガアツテ嫂ヲイデメ出スヤウナ場合モ往々見受ケラレルノデアリマス、最初ハ猫ヲ彼ツテ居ルガ、最後ニナルト段々本性ヲ現ハシテ、兄其ノモノヲ指圖スルヤウニ出シヤバツテ來ル場合モアリ得ルノデアリマス、本法ノ内容ヲ見マス場合、公益事業ノ労働者ニ對シテハ、事實上労働爭議ヲ禁遏致シマシテ、官僚及ビ資本家ガ專制的労働支配ヲ永續のニ確保セントスル、詰リ

小姑のナ出シヤバリノ意地ノ惡イコトニ最後ニナリハシナイカ、要スルニ官僚資本家ノ專制的労働支配ヲ永續のニ確保スルモノデアルト云フヤウニ私ハ考ヘルモノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ御答辯ヲ願ヒマス

○河合國務大臣 只今ノ公益事業

ニ對スル色々ノ規定ガ官僚、資本家ヲ擁護スルノデハナイカト云フ風ニ拜聴致シマシタガ、此ノ規定ハ其ノ相手、保護セントスル目標ハ大衆デアリマス、國民全般デアリマス、サウシテ公共ノ利益デアリマス、決シテ一黨一派ニ偏スルト云フ觀念デナイコトヲ明瞭ニ御答ヘ申上ゲマス

○安平委員 只今ノ御答辯ニ依リ

マス、公益ヲ護ル爲デ一黨一派ニ偏シタモノデハナイト云フ御答ヘデアリマスルガ、官公吏ノ場合ニ於キマシテモ、一般的ニハ政府ノ使用人ニ變リハナイノデアリマス、隨テ公益事業ニ於キマシテモ民主主義ノ立場カラ致シマスレバ労働者ト資本家ノ關係ハ飽クマデモ對等ナ條件ノ下ニ置カレテ居ラナケレバ、公正ナル關係ヲ實現スルコトハ出來ナイノデアリマス日本ノ公益、詰リ日本ノ産業ノ興隆ニ寄與スル爲ニハ、寧ろ今日ノ過渡的ナ労働團體、労働組合ト云フモノノ最終的生活權、即チ労働權、團結權若シハ罷業權ヲ寧ろ擁護シテ、資本家ノ今日ノ封建的

ナ強イ勢力ノ中ニ組織上弱イ労働者ヲ保護助長セシメルト云フコトガ肝要デナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、然ルニ本案ヲ見マシテ、思想的ニハ尤モラシイ言ヒ分デアリマスガ、事實上ハ是等ニ從事スル百六十萬ニ垂ントスル大ナ大衆ノ罷業權ヲ彈壓シ生活權ヲ奪フモノデアルト云フコトニ解釋サレルガ此ノ點如何ニ考ヘマス

○河合國務大臣 官公吏ノ爭議行

爲禁止ニ付テノ御質問デアリマシタガ、是ハ言フマデモナク國家ノ政治ト云フモノハ、國全體ノ神經系統ノヤウナモノヲナシテ居リマシテ、之ニ萬一ノコトガアリマス、國ト云フモノノ存立ヲ脅カサレルノデアリマス、ソレデ今日國國家ガ立ツテヤツテ行クニハ、皆是ハ國民全般ノ利益ノ上ニ於テ、是ガ最モ宜イト云フ信念ノ上ニ立ツテ、斯ウ云フ議會政治ヲ布イテヤツテ居ルコトハ是ハ疑ヒナイコトト思ヒマス、サウシマス、國家全體ノ存立ヲ脅カサレルヤウナ事態デモ起キマスコトハ是ハ最モ警戒ヲ要スルコトデアリマシテ、此ノ「ヨロツバ」戰爭ガ済ミマシタ後ニ、私ハドノ國ト云フ例ハ申シマセヌケレドモ、政治ガ非常ニ緩ンダ爲ニ非常ナ混亂ニ陥ツタ例ナドハ皆サン能ク御存ジノ所ト思ツテ居リマス、ソレデ官吏ニサウ

云フ行爲ヲ認メマシテ、是ガ全般の「ストライキ」ニデモナリマス、ドウ云フコトニナルカト云フコトハ想像スルダニ私ハ恐ルベキコトダト思ヒマス、是ハドウシテモ國民全體、國家全體ノ見地カラ禁止シテ行カクチャナラヌト考ヘテ居リマス、勿論生活權ノ問題ハ憲法ニモ保障サレテ居ル非常ニ重大ナ問題デアリマスカラ、生活權ノ問題ニ付テハ勿論凡ユル方法ヲ以テ保障シテ行カケレバナラヌ、生活保護法ノヤウナモノヲ出シタリ、失業對策ノコトニ付テ色々ヤツテ居リマスノモ、皆サウ云フ線ニ沿ツタモノデアルト思ツテ居リマス、ソレデ特ニ官吏ニ付キマシテハ、今マデノ經過ニ於キマシテ待遇モ惡イノデ先日上ノ方ハ餘リ上ラナカクツケレドモ、下ノモノハ五六割上リマシタ、是ハ實收入ノ五六割上リマシタ、是ハトデ、マダ十分トハ行キマセヌガマア近頃ノ政府トシテハ相當思ヒ切ツテヤツタコトト、御認メ願ヒマス、此ノ後モ勿論注意致シマシテ、爭議權ガナクナルトスレバ反而ニ於テハ出來ルダケ生活權ヲ保護シテ行カクチャナラヌ、此ノ線ニ沿ツテ出來ルダケノコトハヤツテ行カクチャナラヌ、是ハ又政府ノ責任デアルト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居リマス、左様御承知願ヒマス

○安平委員 只今ノ厚生大臣ノ御

答ヘニ依リマス、先般モ五割位ノ値上ラシテ居ルシ、將來逐次改善スルト云フヤウナ御話デアリマスルガ、私ハ、公益事業ト云フ名ノ下ニ是等ノ從業員ニ對シテ特ニ最終的且ツ決定的ナ爭議權ヲ取上ゲル、サウシテ他ノ一般労働者ト異ツタ立場ニ置カウトスルナラバ是等ノ公益事業ハ當然別ナ基礎ノ上ニ置キ換ヘラレテ、是等ノ從業員大衆ノ生活ノ保障ガナサレテ初メテ只今厚生大臣ノ言ハレルヤウナコトガ言ハレル、是等ノ大衆ニ對シテ爭議權ノ拋棄ガ要求サレルト云フヤウニ考ヘラレマスガ、此ノ一般産業ト違フ立場ニ是等ノ公益産業ヲ置キ換ヘニナル御意思ガアルカドウカ、詰リ公益事業ト指定サレル是等ノ事業ヲ國家管理ニ移シテ行ク、即チ基礎ノ上ニ立ツト云フ意味デアリマスルガ、サウシテ御考ヘガアリマスルカドウカ御聽キシタイノデアリマス

○河合國務大臣 只今說明申上

ゲマシタノハ官吏ノ爭議權ニ付テノ問題デアリマシタガ、只今ノ御質問ハ公益事業ノ點ト拜承致シマス、公益事業ニ付キマシテハ爭議權ノ拋棄ヲ此ノ法律ヲ請求シテ居ル譯デアリマセヌ、唯拔打的な爭議ヲ禁止シテ、豫告ヲ以テ爭議權ハ認メテ居ルノデアリマス、併シナガラ何レニシテモ制限ノアルコトデスカラ、制限ト云フ點カラ考ヘレバ、今ノ御論旨ノ他ノ事業ト

別ニスルコトガ宜イカ惡イカト云フ御議論ハ立ツコトトハ思ヒマスガ、サウ云フ意味ニ於テ御回答致シマス、ソレデ、是ハ官吏ノ例ニ於テ、官吏ノ俸給サヘモ遅レガチ

ヲ擁護スルト云フ簡單ナ而モ漠然トシタ理由シカ説明シテ居リマセヌ、此ノ點ニ付テ詳シク其ノ限界ヲ御答ヘ願ヒタイノデアリマス

現在指定サレテ居ル第八條ニアル指定事業モ、主務大臣ガ其ノ大臣ノ意思ニ依ツテ決定シタイト云フ風ナコトガ言ハレテ居リマスガ、若シモ政府ハ、此ノ大臣閣僚ヲ含

ノ決議ヲ經テソレヲ機械的ニ指定スルト云フコトニナツテ居リマシテ、政府ノ意思ヲ指定スルト云フコトニハナツテ居リマセヌ

キモノデスナ、是ハ食糧ノ配給ト云フモノハ普段ハヤラヌノデスカラ、當時ハ斯ウ云フ第八條ニ掲ゲテ置ク必要モナイコトデスケレドモ、食糧事情ノ非常ニ面倒ニナツ

テ困ツテ居ル狀況デアリマスルカラ、斯ウ云フモノヲ國營ニスルト云フコトハ直チニ俸給ガ餘計ニナルト云フ風ニ考ヘマスコトハ現實

御答ヘ致シマスガ、是ハ御話ノ通りニモウ殆ド總テノ問題、特ニ總テノ經濟行爲ハ公益ニ關係ヲ持ツテ居ルト言ウデモ宜カラウト云フ

政府ニ都合ノ惡イ場合ハ益々此ノ指定事業ナルモノノ範圍ヲ擴大スルト云フヤウナコトニナリ、最後ニハ官僚獨善ニ陥ル危險性ガ私ハ

辯ニ依リマス、現在此ノ第八條ノ「この法律において公益事業とは、左の事業であつて、公衆の日常生活に缺くことのできないもの

タ時ノ配給ナドニ對シテハ、抜打的「ストライキ」ハ困ルト云フヤウナ事態ガ生ゼストモ限リマセヌ、ソレデスカラサウ云フ特別ノ必要

ノ問題トハ一寸懸ケ離レテ居ルト考ヘナケレバナラヌノデアリマスルカラ、之ヲ國家管理ニスルカラ

デスカラ廣ク公益ト云フコトデ爭議禁止ナリ爭議制限ノ限界ヲ決メルト云フ言葉ハ正確ニ申シマス

地方ヲ通ジテ勞働委員會等ガゴザイマスノデ、斯ウシテ指定ハ一大臣ノ認定、一大臣ノ意思ニ依ツテ

は、前項の事業外」トアルガ、此ノ「前項の事業」ハ主務大臣ガ指定スルモノト解釋シテ居ルノデア

ト云フ風ニ書イテ居リマスルカラ是ハ勝手ニ政府ガヤルト云フコトノ御心配ハ要ラヌト思ヒマス

必要ガアルカ、或ハ國營ニスル必要ガアルカト云フ問題ハ、主トシテ一般ノ經濟的見地カラ考フベキ

コトデ、私ハ之ニ對シテ一々議論ハ持ツテ居リマスガ、此處デ其ノ問題ニ立入ルノモドウカト思ヒマ

リマス、ソレカラ第二ノ公益事業ノ制限ト云フ問題ニ付キマシテハヤハリ大衆ノ日常生活ノ維持ト云

規定シテ居ルノデアリマスカラ、法律デ、此ノ第八條デ規定スルノデスカラ、主務大臣トハ關係アリ

マシテモ、現在一番最初中上ゲマシタヤウニ、組織サレテ勞働者大衆ガ、此ノ内容ニ對シテ非常

コトデ、私ハ之ニ對シテ一々議論ハ持ツテ居リマスガ、此處デ其ノ問題ニ立入ルノモドウカト思ヒマ

リマス、ソレカラ第二ノ公益事業ノ制限ト云フ問題ニ付キマシテハヤハリ大衆ノ日常生活ノ維持ト云

現在指定サレテ居ル事業ノコトヲ中上ゲテ居ルノデアリマス

○河合國務大臣 是ハモウ法律ニ規定シテ居ルノデアリマスカラ、

力ガ非常ニ強イ場合、勞働者ノ團結權、ソレニ基ク自由ナル爭議權ガ行使サレテコソ、初メテ勞働者

○安平委員 本法ニ於キマシテ公益事業トシテ指定事業ガ舉ゲラレ

定サレタ意味ノ公益ト御諒承願ヒタイト思ヒマス

○河合國務大臣 只今政府云々ノコトヲ申シマシタノハ官吏ノ「ストライキ」ニ關スルコトデアリマ

○安平委員 只今ノ說明ニ依リマスルト、政府ノ願望等ノ言葉ヲ用

ト資本家ノ實質的ナ對等ノ地位ヲ確保サレルト思フノデアリマス、

今日ノ社會的ナ事情カラ致シマシテ、如何ナル事業ト雖モ公益性ナ

○安平委員 只今ノ說明ニ依リマスルト、政府ノ願望等ノ言葉ヲ用

第一項デ公益事業ヲ定義スル譯デアリマス、ソレデ、總テ追加ノ指

○河合國務大臣 必要ノアル場合ニハ、ソレハ内外ノ情勢上追加シ

ウ云フ點ニ付キマシテ厚生大臣ハ此ノ組織サレテ勞働者ノ反對意思

併シナガラ此ノ法案ノ理由説明ニ依リマスルト、政府ハ公衆ノ福祉

○安平委員 只今ノ說明ニ依リマスルト、政府ノ願望等ノ言葉ヲ用

○河合國務大臣 必要ノアル場合ニハ、ソレハ内外ノ情勢上追加シ

○安平委員 只今ノ說明ニ依リマスルト、政府ノ願望等ノ言葉ヲ用

ウ云フ點ニ付キマシテ厚生大臣ハ此ノ組織サレテ勞働者ノ反對意思

サルカドウカト云フコトヲ最後ニ御聽キシテ置キタイノデアリマス

○河合國務大臣 御答へ致シマス

ガ、度々申上ゲマシタ通りニ、是ハ決シテ勞働者ヲ彈壓スル意味ハ一ツモ持チマセヌ、ソレデ能ク此ノ點ヲ御諒承下サレバ御分リ下サルコトト思ヒマス、又ドウカ各位ニ於カセラレテモ御諒承下サルヤウニ、一ツ御盡力ヲ願ヒタイモノダト思ツテ居リマス、ソレデ政府ノ見ル所デハ、是ハ色々ナ勞働問題、其ノ他世ノ中ノ現象ニハ單純ニ解決出來ヌコトガアリマシテ、勢ヒト云フコトモアレバ、色々物ノ進行ト云フコトモアリマシテ、其ノ唯一ツノ現象ダケヲ認メマシテ、是デ斯ウダト云フ風ニ輕々ニ解決出來ヌ問題モアリマスノデ、政府ニ於キマシテハ是ハ確カニ勞働者ノ爲ニモナル、爭議ノ豫防ニモナル、又公益擁護ニモナル、ドウシテモ斯ウ云フモノヲ作ラナクテハナラヌト云フ信念ノ下ニ出シテ居ルコトデアリマスカラ、之ヲ今組合ニ於テ斯ウ云フ意見ガアルカラドウト云フ考ヘヲ持チマセヌ、尙ホ今御話ノヤウニ勞働組合ノ健全ナル發達、又勞働者ノ自覺ニ依ツテ、本當ニ生産意欲ヲ増進スルコト云フコトニ付テハ政府モ勿論同感デアリマス、其ノ線ニ沿ウテ一生懸命ヤツテ居ル次第デアリマス其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ツテ居リマス

○安平委員 此ノ法案ハ決シテ彈壓デハナイト云フ御答辯デアリマスガ、爭議ヲ禁壓シヨウトスル意圖ハ、正ニ彈壓法デアルト云フヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ逐條審議ニ入りマシテカラハ更ニ十分御質問致スコトニ致シマシテ、私ハモウ一ツ聽イテ置キタイコトハ、十八日ノ委員會ニ於キマシテ、川崎氏ノ少數ノ場合ハ違法デアルカト云フ御質問ニ對シテハ河合厚生大臣ハ、勞働組合法デハ適當カ否カハ言ヘルガ、合法、非合法ハ決定出來ナイ、斯様ニ答辯ナサレテ居リマス、今度ハ後デ政府委員筋デハ、サウシタ場合ハ非合法デアアル、若シ職場デ罷業ヲ強行スレバ、家宅侵入、營業妨害ノ現行犯ニナルトノ意向ヲ齎シテ居ルト云フヤウナ點デ、厚生大臣ト政府委員トノ意見ガ相違シテ居リマスガ、此ノ何レガ事實デアルカ御答へ願ヒタイノデアリマス

○河合國務大臣 ソレハ讀賣ノ「ストライキ」ト言ヒマスガ、紛爭ト言ヒマスガ、ソレニ關聯シテ御質問デアツタト記憶致シマスガ、アノ時ニハ第三者カラ見テ居ルト組合ノ少數ノ人ガ「ストライキ」ヲヤルト云フノハ、ドウモ穩ヤカデナイヤウニ見エルガ、合法、非合法ト云フコトニ付テハ、ドウモ我我トシテハツキリ言ヘヌト云フヤウナコトヲ言ツタカト思ヒマスガ、能ク分ラヌデアリマス、事實ハモウ少シ研究ヲ致シマス、ソレカラ政府委員ニ於テ答辯シタコトハドウ云フコトカ私其ノ席ニ居リマセヌノデ、ハツキリ致シマセヌケレドモ、別ニ私ノ考ヘト變ツタコトハナイト思ヒマス

○安平委員 是ハ新聞ニ出テ居ルコトデ、此ノ席上デハアリマセヌ、デアリマスガ、新聞ニ出テ居ル以上ハ、サウ云フ意見ガアツタモノトシテ質問スルノデアリマス、只今ノ御答辯ニナリマシタ少數意見、研究シテ見ルト申シマスガ、現在ノ勞働組合ノ組織ト云フモノハ、全ク自然發生ノ組織サレテ居ル勞働組合ガ非常ニ多イノデアリマス、隨テ中ニハ非常ニ意識ノ低イ勞働者デアリマスカラ、資本家ノ意圖ニ依ル勞働組合ノ組織モ往々アルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ行キマシテ、今日ノ爭議團ノ内部ニ於ケル少數必ズシモ非ナリト云フコトハ、私ハ出來ナイト云フ場合ガ多イト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ヲ十分考慮ノ中ニ入レテ善處サレンコトヲ望ムノデアリマス

更ニ生産管理ニ付テ御尋ネシタイト思フノデアリマス、今日日本ハ何ヲ一番要請シテ居ルカト申シマス、申スニ及バズ一切ノ産業ノ興隆、増産、是ガ國家的ナ要請トナツテ現ハレテ居ルノデアリマス、隨テ今日ノ生産ハ全ク一日ノ休止モ滯滯モ絕對ニ出來ナイ狀態ニ置カレテ居ルノデアリマス、斯ウシタ緊急事態ニ對處シマシテ、勞働者ハ斯ウシタ緊急事態ヲ認識シテ居リマスルガ故ニ、同盟罷業ト云フヤウナ手段ヲ避ケマシテ、爭議中ニモ増産ヲ圖リタイト云フ今日ノ國家ノ要請ヲ自覺シテノ上ノ平和的手段トシテ生産管理ガ行ハレテ居ルノデアリマス、是レコソ私ハ社會的ナ、公共ノ利益ヲ重シジマスル救國の方策デアルト信ズルノデアリマスガ、厚生大臣ハ如何ニ御考ヘニナリマスカ

○河合國務大臣 只今ノ生産管理ニ付テ御尋ネデアリマスルガ、是ハ民主主義ノ國家ト致シマシテハ、自分ノ權利自由ハ飽クマデ主張スルガ宜イ、併シ國家ガ存立シテ、御互ヒ多數ガ同一ニ共同生活ヲヤツテ居ル以上ハ、ソレト同時ニ、他人ノ自由權利ハ飽クマデ尊重シナケレバナラヌ、是ガ民主主義國家ノ基本デアルト私共ハ考ヘテ居リマス、ソコデ人間ト云フモノハ個人ノ基本權ハ憲法ニ依ツテ保障サレマシテ、一方ニ於テハ勤勞權ヲ持チ、一方ニ於テハ財產ヲ所有スル權利ヲ持ツテ居リマス、財產權モ亦憲法草案ニ規定サレテ居ル通りデアリマス、ソコニ勞働權ト罷業權ガ起ル、是ハ皆人間個人ヲ中心トシテ二ツノ權利ガ起ルノデアツテ、權利ガ二ツアル以上ハ御互ヒニ其ノ權利ヲ主張スルト同時ニ、尊重シ合フト云フコトニ

共同生活ノ本義ガアルト考ヘテ居リマスルノデ、是ハ非常ニ重大ナコトデアリマス、ソコデ此ノ重大ナコトハドウシテモ守ラナクテハナラヌカラ、或ル場合ニ、生産管理ヲヤリマシテ、増産ニ導クヤウナコトガ假ニアリマシテモ、是ハ根本問題カラ照シテ適當デナイト云フ風ニ私共ハ考ヘテ居リマス、併シ現在マデノ私共ノ考ヘデハ、生産管理ハ増産ニナルト云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ

ソレカラモウ一ツ先程ノ組合ノ少數意見ノコトニ付テ、御希望ノ御質問モアリマシタガ、是ハ「アメリカ」アタリノ先進國デハ、組合ハ一人デモ多イ所ノ議決ニ從フ、一人デモ少ナケレバ其ノ議決ハ通ラヌト云フコトガ、組合ノ本義デアアル、日本ハマダ發達セヌト云フコトハ甚ダ殘念デアリマスケレドモ、少數意見ヲ認メルト云フコトハ言ヘヌノデヤナイカ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス

○安平委員 後ノ問題ノ方カラ先ニ申上ゲマス、私ガ申上ゲマスノハ其ノ通りデアリマス、ケレドモ今日ノ日本ノ勞働運動ノ發展ト云フヤウナモノヲ考ヘテ見マスル場合、終戦後僅カ數箇月ノ間ニ、此ノ歴大ナ三百萬ニ垂ントスル組織ガ成サレタノデアリマス、隨テ組織訓練ノナサレテ居ナイ勞働者ノ中ニハ、偶々資本家ノ意圖ニ依ツテ、多數ガ少數ノ正シイ意見ヲ壓

迫スルト云フヤウナ點モアルト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス、要スルニ今日ノ過程ニ於ケル狀況ヲ申上ゲテ斯ウ云フ實情ヲ考ヘテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマス

更ニ生産管理ノ問題デアリマスガ、權利義務トカ或ハ今マデノ生産管理狀態ニ於テハ必ズシモ増産ガナサレテ居ラナイト云フヤウナコトヲ申サレタノデアリマスルガ厚生省ノ發表ノ昭和二十一年度ノ一月カラ四月マデノ爭議件數ハ五百七十三件デアリマス、此ノ中生産管理ハ八十四件ニ及ンデ居ルデアリマスルガ、是等ノ八十四件ニ及ブ生産管理ハ大體ニ於テ増産ニ支障ヲ來サナカッタ、寧ろ増産ノ狀態デアツタト云フコトヲ聽カサレテ居ルノデアリマス、所ガ只今ノ厚生大臣ノ御答ヘニ依リマスト必ズシモ増産ニナツテ居ラナイト云フヤウナコトヲ申サレタノデアリマスルガ、サウシタ非合法的ナ禁止シナケレバナラナカッタ、又禁止シナケレバナラナカノヤウナ狀態、ソレカラ増産デナカッタ、却テ大キナ障礙ガ起リ減産ニナツタト云フヤウナ事例ガアツタナラバ御示シ願ツテ、具體的ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス

○河合國務大臣 減産ニナツタカナラヌカト云フ見解ハ、遺憾ナガラ御質問ト反對ニ考ヘテ居リマス餘リ増産ニナラナカッタ、増産ヲ

阻害シタ實例モ甚ダ多イト思ツテ居リマス、實例ニ付テハ此處ニアリマスレバ政府委員カラ説明致シマスシ、ナケレバ何レ又時ヲ換ヘテ政府委員カラ説明致サセマス

○安平委員 此ノ點ニ付キマシテ私ハ末弘博士ノ「パンフレット」デアリマスガ、書イタ物ヲ讀ンデ見マシテモ、現在ノ生産管理ト云フモノハ必ズシモ非合法デハナイ、即チ罷業權ト簡單ニ言フガ、爭議ノ手段トシテヤル各種ノ行爲ハビシカラキリマデアル、罷業即チ作業ヲ停止スルコトガ認メラレル以上、工場管理モ爭議方法トシテ認メラレルト云フコトガ原則デアルト云フヤウニ書イテアリマスルシ先達デ八日ノ朝日新聞ノ記事ヲ見マスルト、經濟同友會ト云フ資本家側ノ經濟團體デスラ生産管理大イニ宜シイ、今日ノヤウナ狀態ニ於ケル時ニハ寧ろ之ヲ禁止スベキデナイト云フヤウナ意見ガ載ツテ居リマスガ、斯ウシタ意見ニ付テ厚生大臣ハ如何様ニ御考ヘニナルカ又此ノ記事或ハ文章ヲ御讀ミニナツテ參考トサレタコトガアリマスカ

○河合國務大臣 御答ヘ致シマス私ハ末弘君ノ論文ハ讀ミマシタガ賛成致シマセヌ、ソレカラ經濟同友會ノコトハ私ノ聞イタ範圍デハ多少事情ガ違ツテ居リマス

○安平委員 末弘博士ノ論文ヲ讀ンダガ賛成シナイ、私ハ反對デス

ト云フヤウナ單ナル御答ヘデアリマスルガ、是コソ即チ官僚獨善デナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、末弘鐵太郎氏ハ御承知ノヤウニ中央勞働委員會ニ於キマシテモ、日本ノ勞働運動ニ於キマシテモ非常ナ權威者デアリマス、斯ウシタ人ノ論文モ唯單ニ反對デアリマスト云フヤウナ一言ニ依リマシテ片付ケラレルト云フヤウナコトハ是コソ官僚ノ獨善デアリ、非民主主義的デアルト云フ風ニ私ハ考ヘマスガ、是レ以上其ノ點ニ付テハ申上ゲマセヌ

以上デ私ハ生産管理問題ニ付テハ打切りマス、アトハ逐條審議ニ入ツテカラ申上ゲマスルガ、私ハ政府側ノ考ヘトハ全ク別ニ社會秩序ノ維持ト、飽クマデモ合法的ニ組織ヲ持ツタ整然トシタ生産管理ハ大イニ之ヲ認メテ我が國產業ノ興隆ト再建ニ寄與シナケレバナラナイト思フノデアリマス、斯ウシタ點ニ付テ政府ハ曩ニ聲明サレタ生産管理禁止ヲ更ニ御考慮アツテ御取消ニナラレル意思ハアルカナイカ、最後ニ御聽キンテ置キマス

○河合國務大臣 先程説明シマシタヤウナ理由デ、政府ハ生産管理ノ禁止ヲ撤廢スル考ヘヲ持チマセヌ、偶々一週開程前ニ聯合軍最高司令部カラモ政府ト同様ナ意見ノ御發表ガアツタ次第デアリマシテ聯合軍側ノ意向モ其處ニアルコトヲ聞知スル以上ハ政府トシテハ尙

更之ヲ撤廢スル意向ハ持チマセヌ

○安平委員 私ハモウ一ツ文部大臣ニ御聽キンタイコトガアツタノデアリマスガ、是ハ次會ニ保留シテ此ノ程度デ今日ノ質問ハ打切ツテ逐條審議ニ入ツテ更ニ御質問ヲ致シマス

○逢澤委員長 今日ハ是ニテ散會致シマス、次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマスガ、大體ニ於キマシテ來週ノ水曜日ノ定刻カラ繼續スル豫定デアリマス

午後零時二十三分散會